

会 議 記 録				
会議の名称	広報広聴会議			会議場所 全員協議会室
				担当職員 数井
日 時	令和7年2月19日(木曜日)			開 議 午前11時00分
				閉 議 午前11時54分
出席委員	◎木村 ○三上(広報部会長) ○林(広聴部会長) 大西 小林 山木 竹内 梅本 大塚			
執行機関 出席者				
事務局 出席者	数井次長、福沢主査、田中主事			
傍 聴	可	市民0名	報道関係者0名	議員0名( )

## 会 議 の 概 要

11:00~

### ○開 議

【事務局から本日の日程説明】

#### 1 広報部会の活動について

【三上副会長(広報部会長)から別紙資料により報告】

<木村委員長>

3月議会号で広報広聴会議の紹介記事を書けるのか。

<三上副委員長(広報部会長)>

今号は予算特別委員会の結果など掲載したい記事が多く、一方、一般質問が全員でなかったため紙面と相談になる。

<木村委員長>

議会モニターの活動についてはどうか。

<三上副委員長(広報部会長)>

議会運営委員会で意見をいただく予定であるが、どの程度載せるかは検討する必要がある。可能であれば傍聴されている様子を書ける方法もある。

11:10

#### 2 広聴部会の活動について

【林副委員長(広聴部会長)から別紙資料により報告】

<三上副委員長(広報部会長)>

わがまちトークは3月議会号で募集して、10月から12月に実施予定としているが、令和7年度はもっと頻繁に開催できるようにしてはどうかと思う。

<木村委員長>

昨年、秋口に集中した経緯は。

<事務局次長>

令和5年度の議会活性化の議論の中で、わがまちトーク復活の話がまとまったが、準備段階をしっかりとっていこうと広聴部会や広報広聴会議で協議し、4月は自治会などの役員交代があること、5月は常任委員会の視察が予定されていること、6月は議会月で7月から8月は会派の視察が予定されていることなどを鑑み、10月以降でスケジュールリングしたものである。

<林副委員長（広聴部会長）>

できるだけ受け入れる姿勢で進めたいと思う。

<大塚委員>

去年参加いただいた、かめたんレザミ t e t o t e とはたちの会実行委員会とは来年度も実施するのか。

<林副委員長（広聴部会長）>

希望があればしてもよい。

<大塚委員>

多くの応募があるように、魅力的に伝えていかななくてはならない。

<三上副委員長（広報部会長）>

実際にわがまちトークをやってみて、うまくファシリテーションできれば議員の数はそれほど必要ないと感じたため、開催時期を特定せずに、活動できる議員で柔軟に対応していてもよいと思う。12月議会号でわがまちトークを大々的に特集したので応募がなければそもそも読んでもらっていないことになる。

<木村委員長>

できるだけ受入れる姿勢で、はたちの会実行委員はメンバーが変わるため来年度も実施の方向でいいと思う。

<三上副委員長（広報部会長）>

議会モニターの活動報告は3月議会号で反映可能か。

<事務局次長>

3月末の議会運営委員会でそれぞれ発表いただくとともに、任意様式でレポートの提出を求めている。

<三上副委員長（広報部会長）>

提出された意見の掲載は可能ということは了解した。

<大塚委員>

議会運営委員会の発表後、議会モニターで集まり座談会をしていただいてはどうか。

<三上副委員長（広報部会長）>

座談会の様子はすべて載せることはできないが、一人一人に取材できると思う。

<木村委員長>

座談会ではなく、議会モニターそれぞれに広報広聴会議委員がインタビューする形で取材することでよいか。

—全員了—

<林副委員長（広聴部会長）>

取材における質問内容を広聴部会で決めて、後日広報部会委員に共有する。

<三上副委員長（広報部会長）>

難しい質問ではなく、一年間担当いただいて議会のイメージは変わったか、身近なものになったかなど簡単に答えが引き出せる内容にしていきたい。

11:54

### 3 その他

次回開催日 令和7年6月議会 議案送付日の予定

散会～11:54